

# 『第201回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2025年 7～9月期の実績 2025年 10～12月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	104社
(業種別内訳)	製 造 業 27社	卸 売 業	8社
	小 売 業 25社	サ ー ビ ス 業	11社
	建 設 業 21社	不 動 産 業	12社
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 営業店支援グループ		

## ☆ 目 次 ☆

1 概況	P. 1
2(1) 前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2) 前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3) 前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4) 前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5) 前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6) 前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7) 前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1) 前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2) 前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3) 前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1) 前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2) 人手の動き	P. 13
5 借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1) 設備投資の動き	P. 15
6(2) 設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 …不透明感が増す経済社会情勢と中小企業	P. 19～P. 20

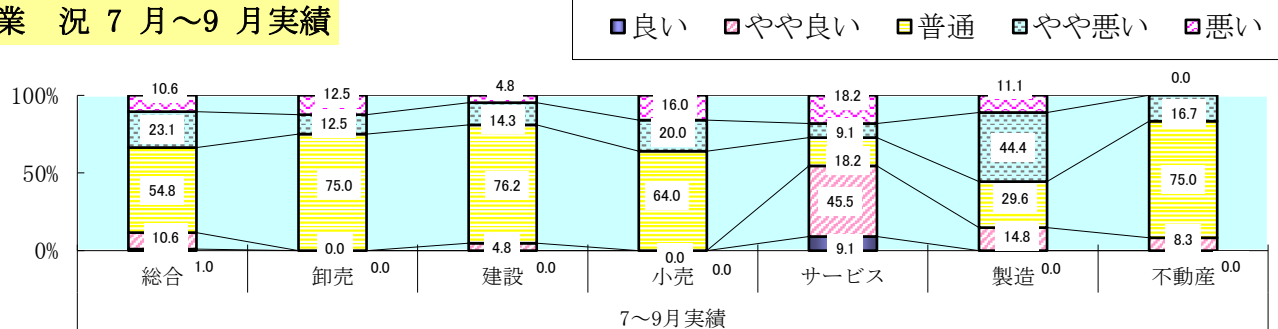
※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



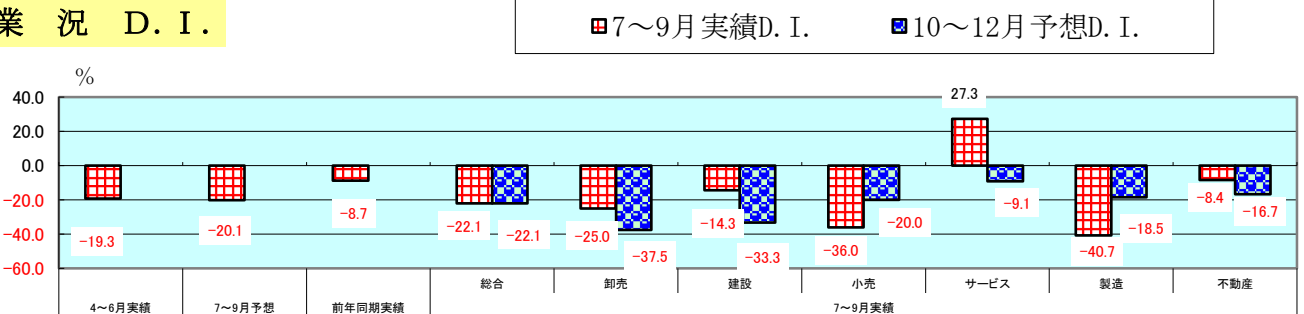
# 1. 概 況

概 況	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績						-19.3	
7～9月予想						-20.1	
前年同期実績						-8.7	
7～9月実績							
総合	1.0	10.6	54.8	23.1	10.6	-22.1	-22.1
卸売	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	-25.0	-37.5
建設	0.0	4.8	76.2	14.3	4.8	-14.3	-33.3
小売	0.0	0.0	64.0	20.0	16.0	-36.0	-20.0
サービス	9.1	45.5	18.2	9.1	18.2	27.3	-9.1
製造	0.0	14.8	29.6	44.4	11.1	-40.7	-18.5
不動産	0.0	8.3	75.0	16.7	0.0	-8.4	-16.7

## 業 況 7 月～9 月実績



## 業 況 D. I.



### ○〔当金庫の取引先からみた中小企業の景況〕

’25年7～9月期(今期)の業況判断D. I. は△22.1で、’25年4～6月期D. I. △19.3と比べ2.8ポイント悪化、前期調査における今期の予想D. I. △20.1に対しても2ポイント悪化、前年同期比でも△8.7から13.4ポイント悪化しました。

次期予想D. I. については△22.1と今期と同様の予想となりました。

### ○〔全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況〕(信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ)

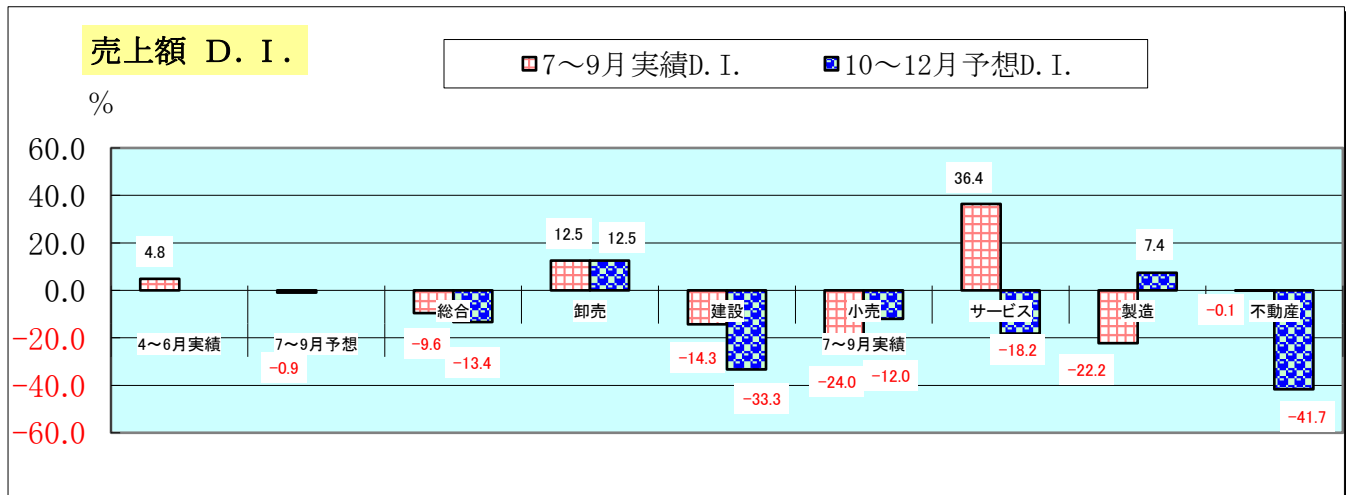
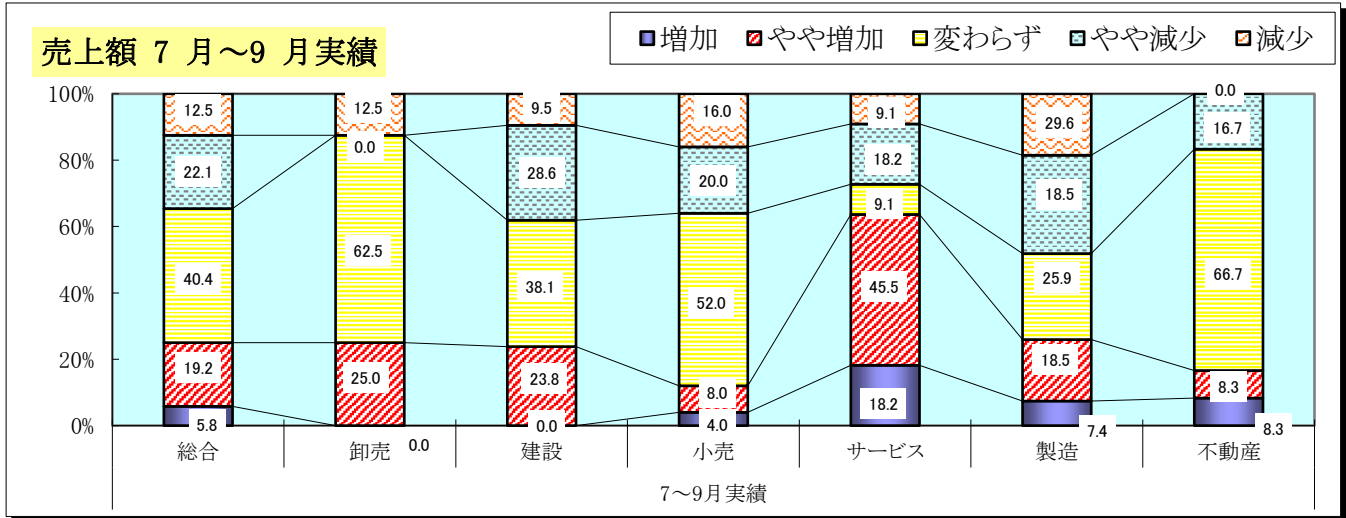
’25年7～9月期(今期)の業況判断D. I. は△5.7、前期比1.2ポイント改善と、2四半期連続の小幅改善となった。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス4.9と前期比横ばいにとどまったものの、同収益判断D. I. は△4.1と同0.5ポイント改善した。販売価格判断D. I. はプラス25.3と3四半期続けて低下した。人手過不足判断D. I. は△25.3と3四半期ぶりに人手不足感が強まった。設備投資実施企業割合は21.8%と前期比で小幅上昇した。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、サービス業や建設業など5業種で、地域別には全11地域中8地域で、それぞれ改善した。

’25年10～12月期(来期)の予想業況判断D. I. は、△4.3、今期実績比1.4ポイントの小幅改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、卸売業など3業種で、また、地域別には全11地域中7地域で、それぞれ改善の見通しとなっている。

## 2. 前期に比べた動き

### (1) 売上額の動き

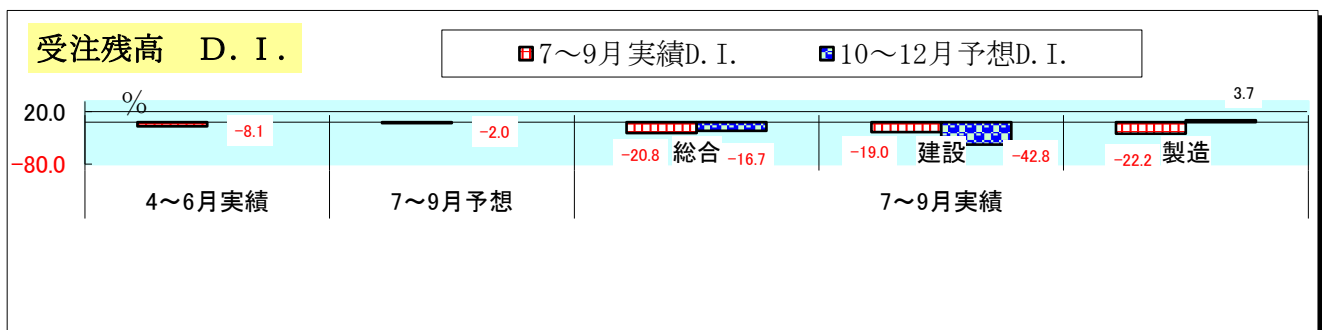
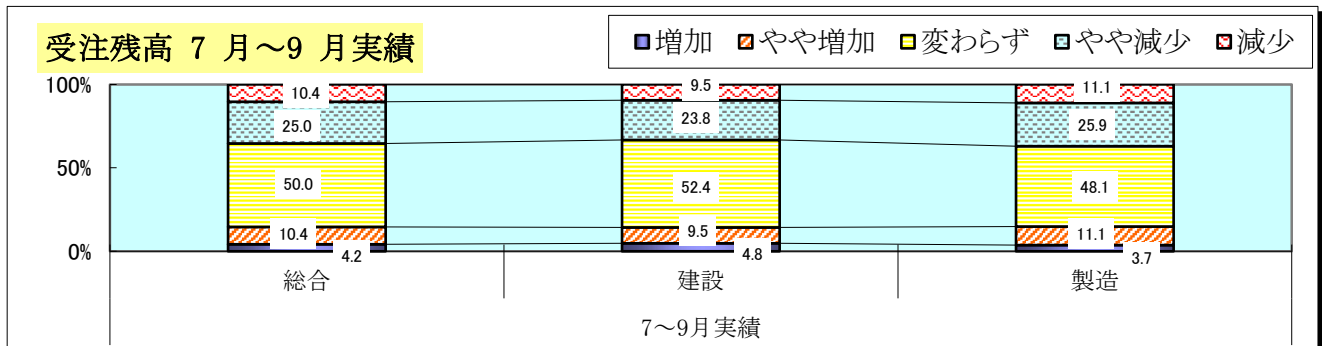
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							4.8	
7～9月予想							-0.9	
7～9月実績	総合	5.8	19.2	40.4	22.1	12.5	-9.6	-13.4
	卸売	0.0	25.0	62.5	0.0	12.5	12.5	12.5
	建設	0.0	23.8	38.1	28.6	9.5	-14.3	-33.3
	小売	4.0	8.0	52.0	20.0	16.0	-24.0	-12.0
	サービス	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	36.4	-18.2
	製造	7.4	18.5	25.9	29.6	18.5	-22.2	7.4
	不動産	8.3	8.3	66.7	16.7	0.0	-0.1	-41.7



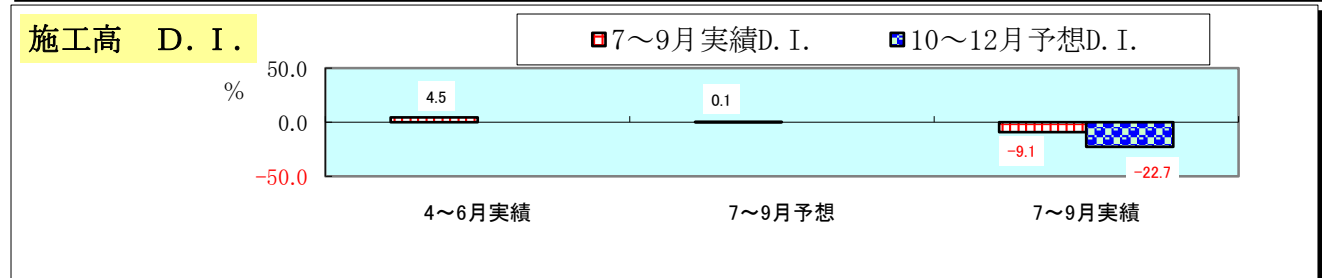
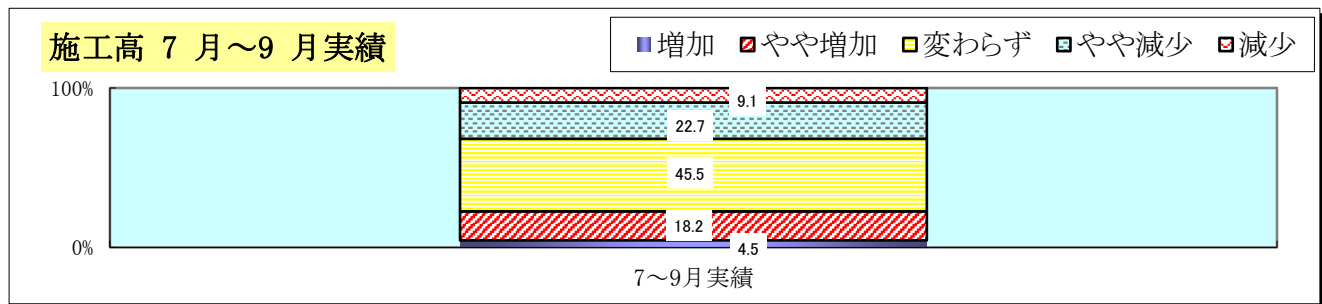
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」とした企業25.0%、「やや減少」「減少」とした企業は34.6%で今期D. I. は△9.6となりました。
- 今期の売上額の動きD. I. は、前期実績D. I. 4.8から14.4ポイント減少、前期調査における今期の予想D. I. △0.9に対しても8.7ポイントの減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で36.4、卸売業で12.5と増加を示した。一方、建設業で△14.3、小売業△24.0、製造業△22.2等の減少を示しました。
- 10～12月予想D. I. は△13.4で、7～9月実績より3.8ポイントの売上高減少予想となりました。

## (2) 受注残高・施工高の動き

受 注 残 高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-8.1	
7～9月予想							-2.0	
7～9月実績	総合	4.2	10.4	50.0	25.0	10.4	-20.8	-16.7
	建設	4.8	9.5	52.4	23.8	9.5	-19.0	-42.8
	製造	3.7	11.1	48.1	25.9	11.1	-22.2	3.7



施 工 高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							4.5	
7～9月予想							0.1	
7～9月実績		4.5	18.2	45.5	22.7	9.1	-9.1	-22.7



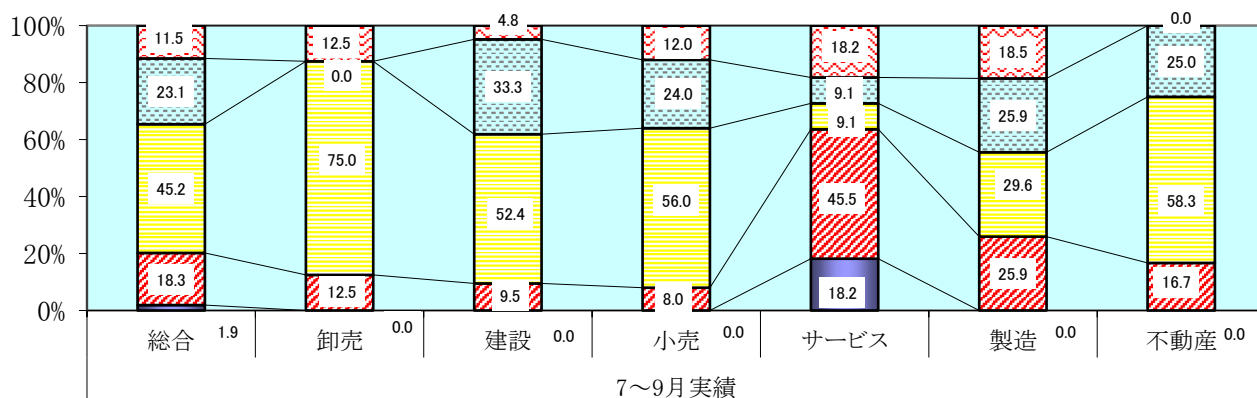
- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は△20.8で、前期実績D. I. △8.1に対し12.7ポイントの減少となり、前期調査における今期予想D. I. △2.0に対しては、18.8ポイントの減少となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は△9.1となり、前期実績D. I. 4.5に対し13.6ポイント減少し、前期調査における今期予想D. I. 0.1に対しては9.2ポイント減少しました。
- また、施工高10～12月予想D. I. は△22.7、7～9月実績対比13.6ポイントの減少予想となりました。

### (3) 収益の動き

収 益 の 動 き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-10.6	
7～9月予想							-10.6	
7～9月実績	総合	1.9	18.3	45.2	23.1	11.5	-14.4	-12.5
	卸売	0.0	12.5	75.0	0.0	12.5	0.0	25.0
	建設	0.0	9.5	52.4	33.3	4.8	-28.6	-23.8
	小売	0.0	8.0	56.0	24.0	12.0	-28.0	-16.0
	サービス	18.2	45.5	9.1	9.1	18.2	36.4	-18.2
	製造	0.0	25.9	29.6	25.9	18.5	-18.5	7.4
	不動産	0.0	16.7	58.3	25.0	0.0	-8.3	-50.0

収 益 7 月～9 月実績

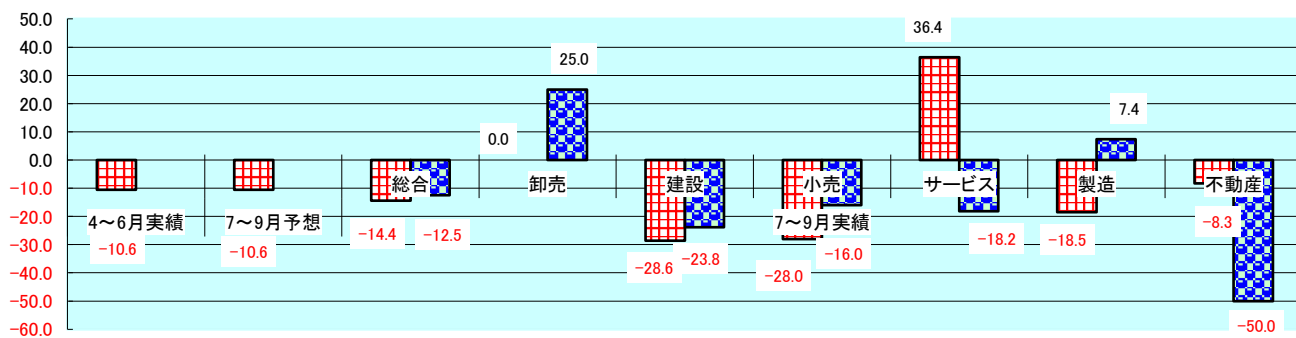
■増加 ■やや増加 ■変わらず ■やや減少 ■減少



収 益 D. I.

■7～9月実績D. I. ■10～12月予想D. I.

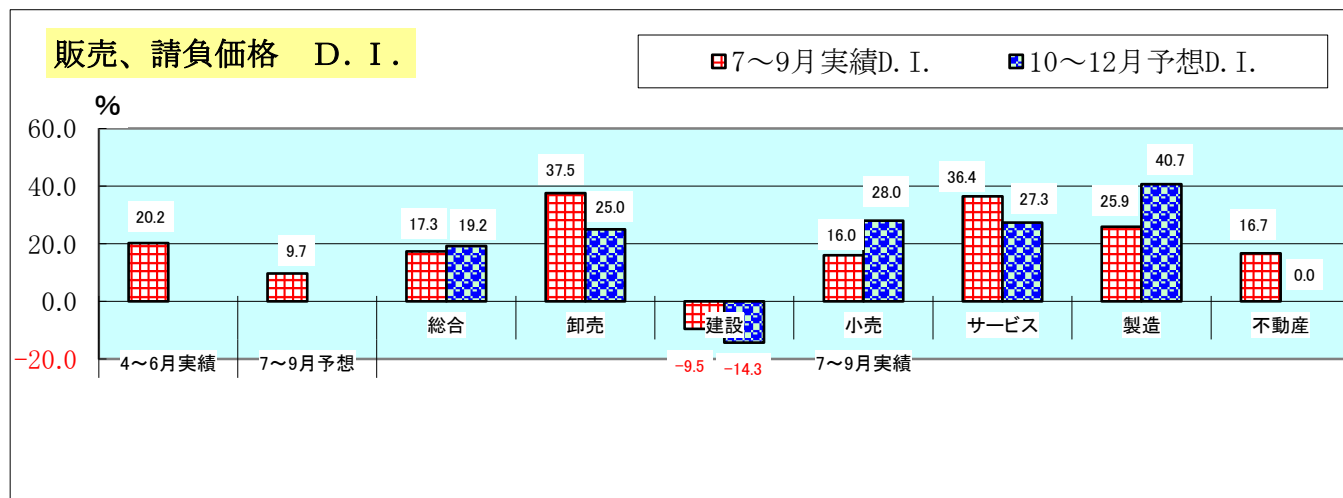
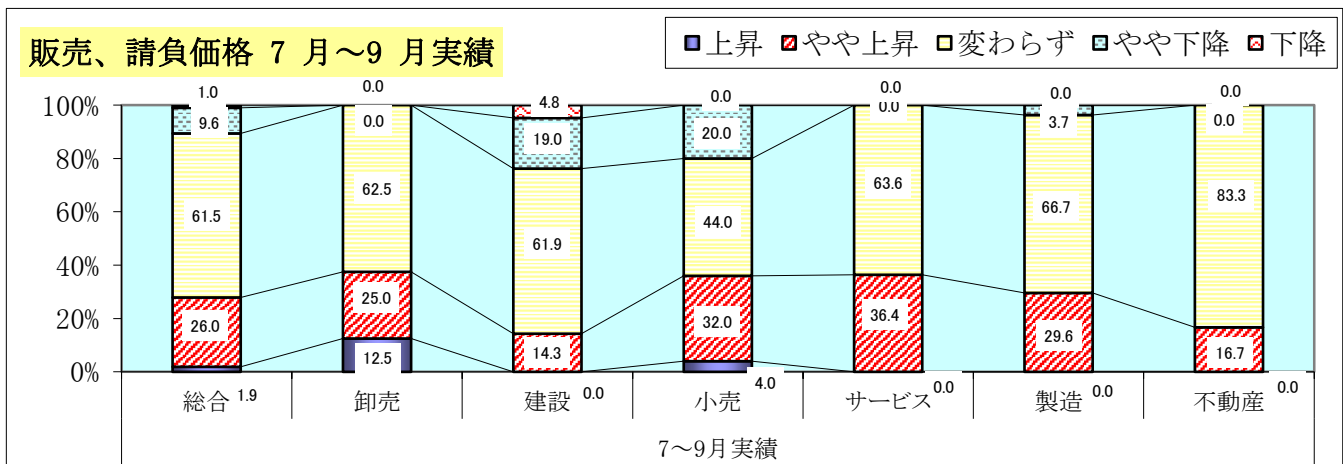
%



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」とした企業は20.2%、「やや減少」「減少」とした企業は34.6%で、今期D. I. は△14.4となりました。
- 今期の収益D. I. は、前期実績D. I. △10.6から3.8ポイント減少し、前期調査における、今期予想D. I. △10.6に対しては3.8ポイント減少しました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で36.4と増加を示し、建設業△28.6、小売業△28.0、製造業△18.5、不動産業△8.3ポイントの減少を示しています。
- 10～12月予想D. I. は△12.5で、7～9月実績より1.9ポイントの上昇予想となりました。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

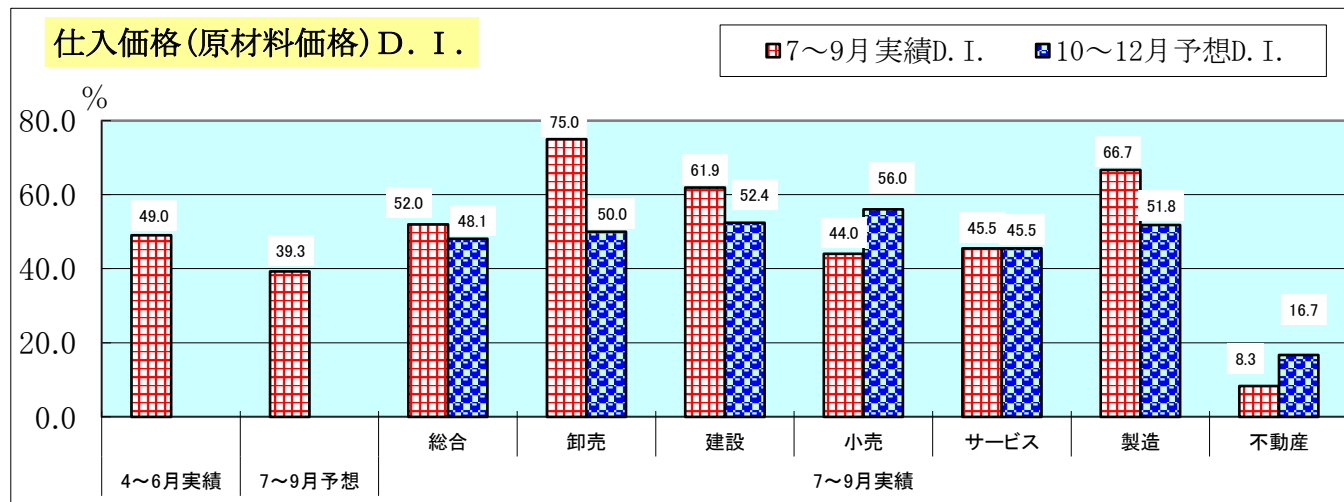
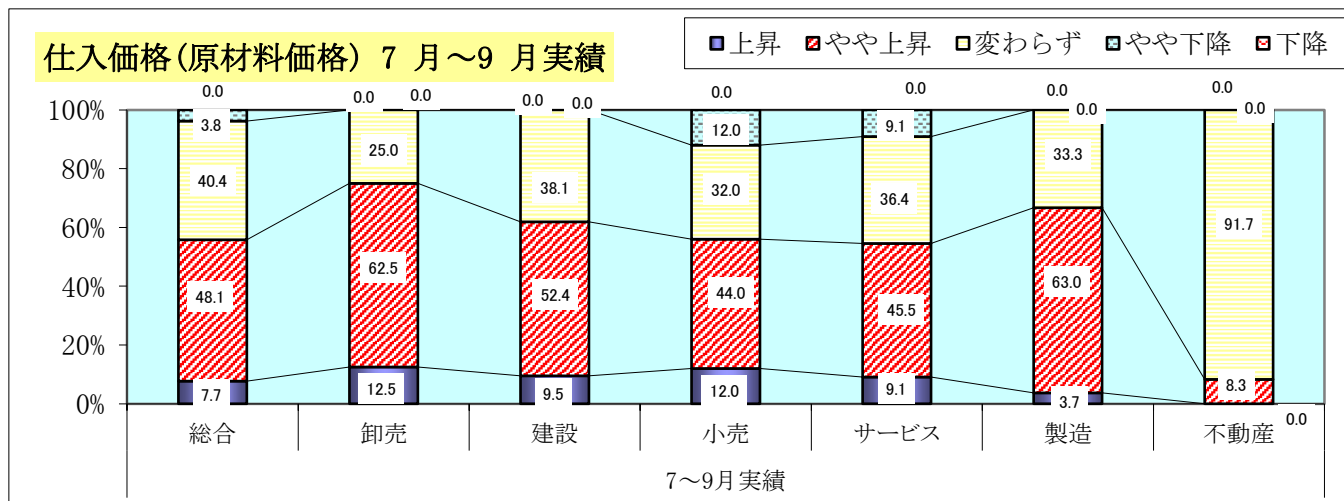
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							20.2	
7～9月予想							9.7	
7～9月実績	総合	1.9	26.0	61.5	9.6	1.0	17.3	19.2
	卸売	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	37.5	25.0
	建設	0.0	14.3	61.9	19.0	4.8	-9.5	-14.3
	小売	4.0	32.0	44.0	20.0	0.0	16.0	28.0
	サービス	0.0	36.4	63.6	0.0	0.0	36.4	27.3
	製造	0.0	29.6	66.7	3.7	0.0	25.9	40.7
	不動産	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	16.7	0.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は27.9%、「やや下降」「下降」とした企業は10.6%で、今期D.I.は17.3となりました。
- 今期の販売価格D.I.は、前期実績D.I.20.2から2.9ポイント下降し、前期調査における今期予想D.I.9.7に対しては7.6ポイント上昇となりました。
- 業種別の今期D.I.は、建設業を除き、他の業種で上昇を示しました。
- 10～12月予想D.I.は19.2で、7～9月実績より1.9ポイントの上昇予想となりました。

### (5) 仕入価格（原材料価格）の動き

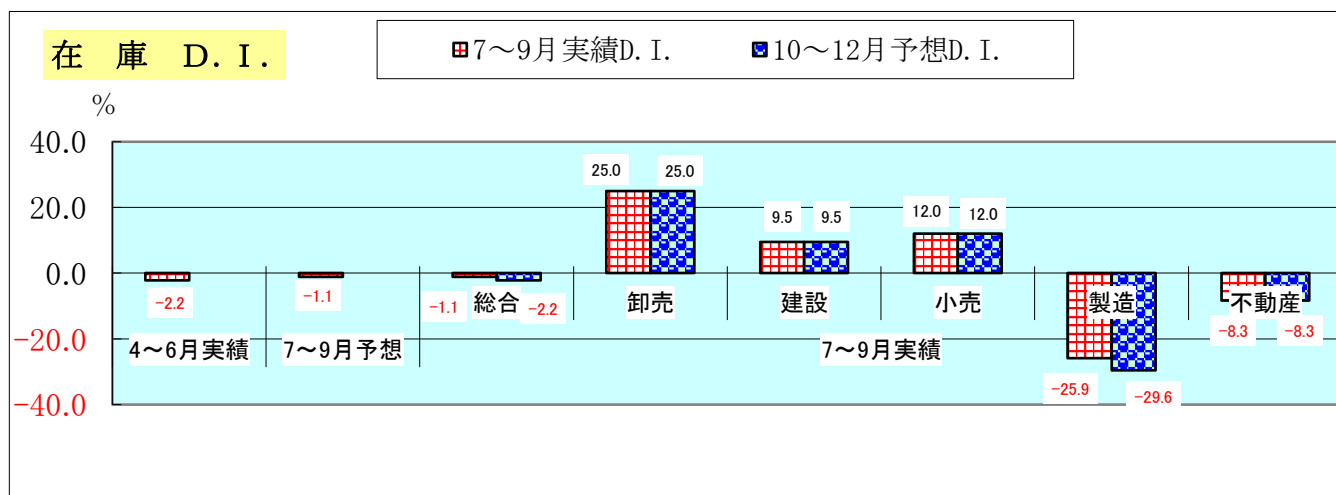
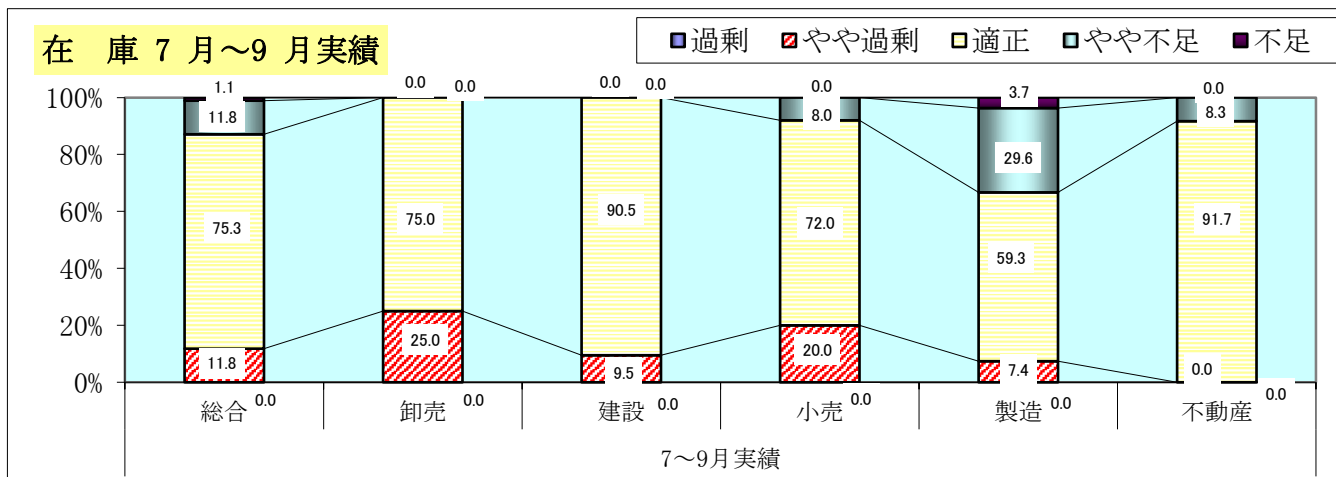
仕 入 価 格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							49.0	
7～9月予想							39.3	
7～9月実績	総合	7.7	48.1	40.4	3.8	0.0	52.0	48.1
	卸売	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0	75.0	50.0
	建設	9.5	52.4	38.1	0.0	0.0	61.9	52.4
	小売	12.0	44.0	32.0	12.0	0.0	44.0	56.0
	サービス	9.1	45.5	36.4	9.1	0.0	45.5	45.5
	製造	3.7	63.0	33.3	0.0	0.0	66.7	51.8
	不動産	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	16.7



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は55.8%、「やや下降」「下降」とした企業は3.8%で、今期D. I. は52.0となりました。
- 今期の仕入価格D. I. は、前期実績D. I. 49.0から3ポイント上昇、前期調査における今期予想D. I. 39.3に対しては12.7ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. では、全ての業種で仕入価格の上昇を示しました。
- 10～12月予想D. I. は48.1で、7～9月実績より3.9ポイントの下降予想となりました。

## (6) 在庫の動き

在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-2.2	
7～9月予想							-1.1	
7～9月実績	総合	0.0	11.8	75.3	11.8	1.1	-1.1	-2.2
	卸売	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	建設	0.0	9.5	90.5	0.0	0.0	9.5	9.5
	小売	0.0	20.0	72.0	8.0	0.0	12.0	12.0
	製造	0.0	7.4	59.3	29.6	3.7	-25.9	-29.6
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-8.3

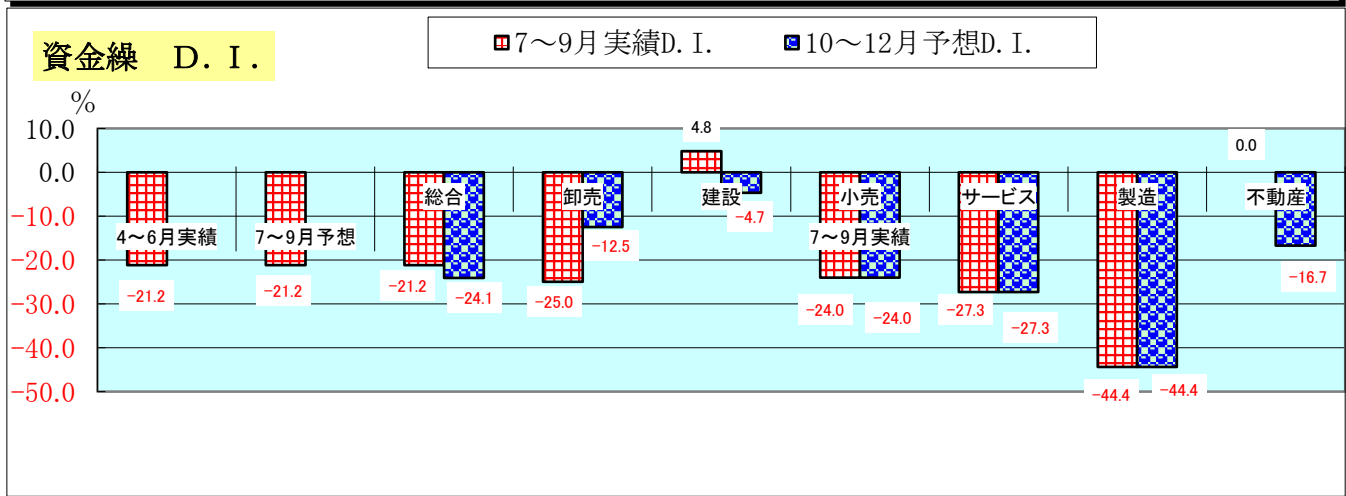
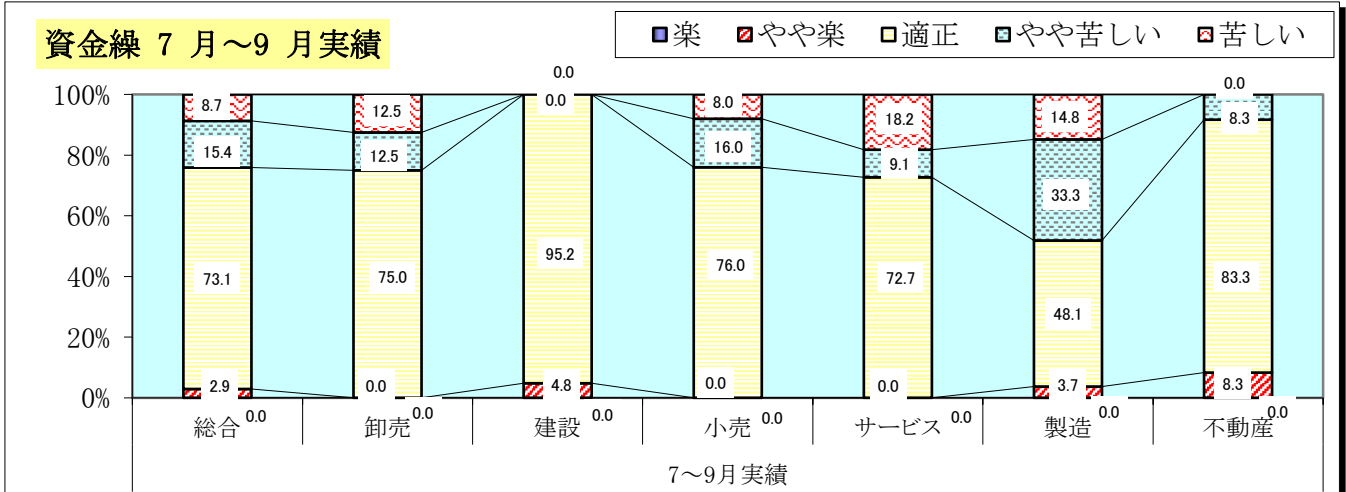


- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」とした企業が11.8%、「やや不足」「不足」とした企業が12.9%で、今期D. I. は△1.1となりました。
- 今期の在庫D. I. は、前期実績D. I. △2.2より1.1ポイントの在庫不足軽減となり、前期調査における今期予想D. I. △1.1に対して同様の予想を示しました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業で25.0、建設業で9.5、小売業で12.0の在庫過剰を示しました。一方、不動産業で8.3、製造業で25.9の不足を示しました。
- 9～12月予想D. I. は△2.2で、7～9月実績より1.1ポイントの在庫不足増加予想となりました。



## (7) 資金繰りの動き

資 金 繰		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-21.2	
7～9月予想							-21.2	
7～9月実績	総合	0.0	2.9	73.1	15.4	8.7	-21.2	-24.1
	卸売	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	-25.0	-12.5
	建設	0.0	4.8	95.2	0.0	0.0	4.8	-4.7
	小売	0.0	0.0	76.0	16.0	8.0	-24.0	-24.0
	サービス	0.0	0.0	72.7	9.1	18.2	-27.3	-27.3
	製造	0.0	3.7	48.1	33.3	14.8	-44.4	-44.4
	不動産	0.0	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0	-16.7

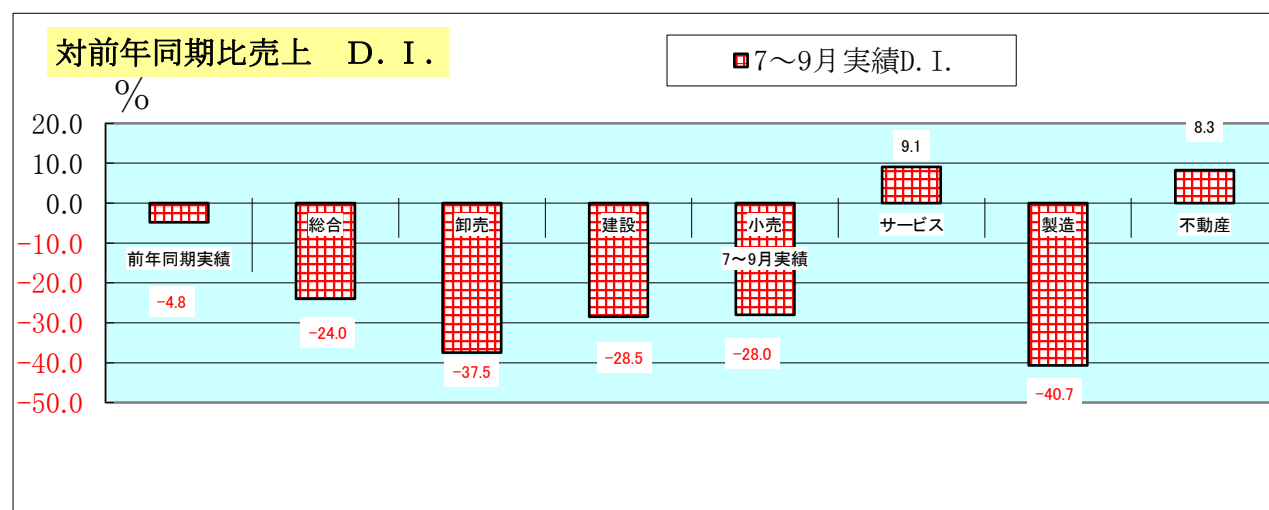
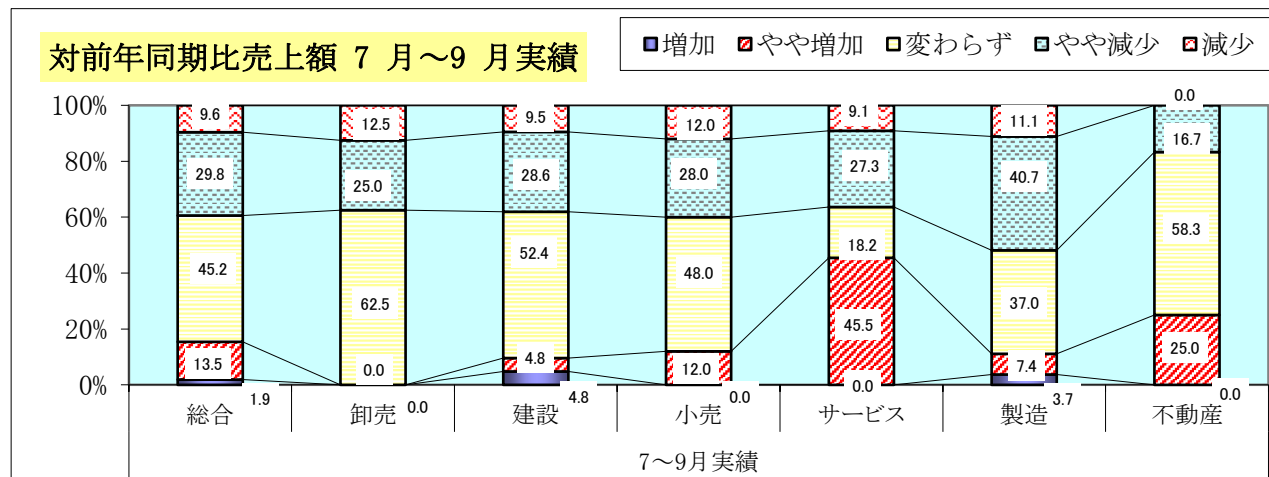


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」とした企業は2.9%、「やや苦しい」「苦しい」とした企業は24.1%となり、今期D. I. は△21.2となりました。
- 今期の資金繰りD. I. △21.2. は、前期実績D. I. と前期調査における今期予想D. I. に対して同様となりました。
- 業種別の今期D. I. は、建設業と不動産業を除き、他の業種で資金繰りの苦しい状況が窺われます。
- 10～12月予想D. I. は△24.1で、7～9月実績より2.9ポイント悪化予想となりました。

### 3. 対前年同期に比べた動き

#### (1) 売上

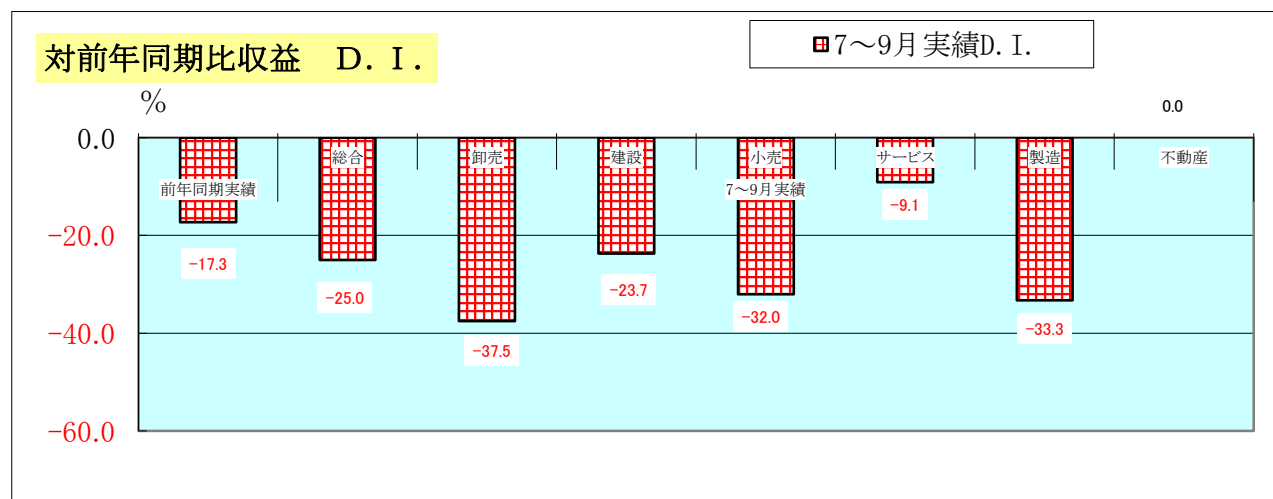
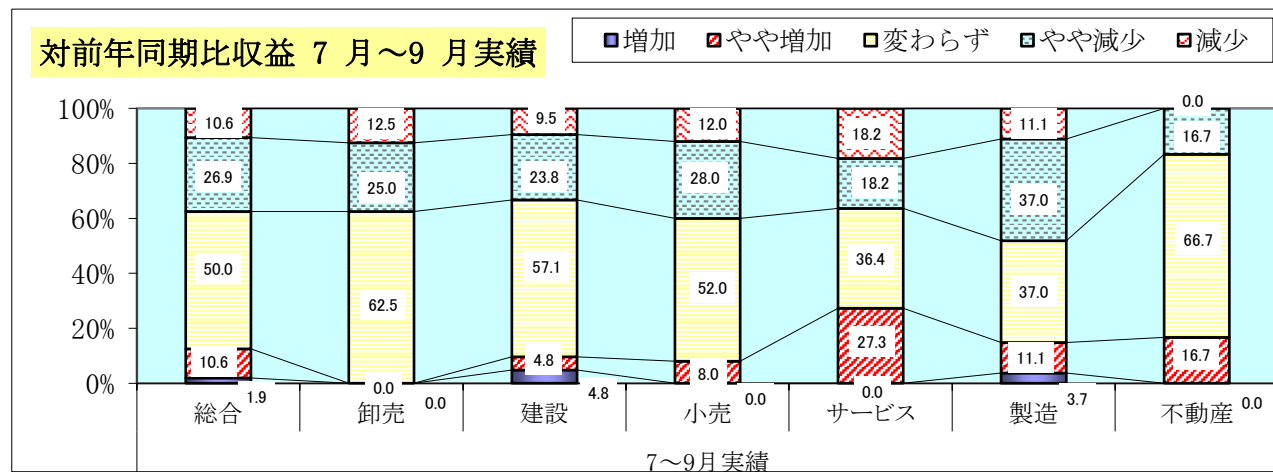
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I.
前年同期実績							-4.8
7～9月実績	総合	1.9	13.5	45.2	29.8	9.6	-24.0
	卸売	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	-37.5
	建設	4.8	4.8	52.4	28.6	9.5	-28.5
	小売	0.0	12.0	48.0	28.0	12.0	-28.0
	サービス	0.0	45.5	18.2	27.3	9.1	9.1
	製造	3.7	7.4	37.0	40.7	11.1	-40.7
	不動産	0.0	25.0	58.3	16.7	0.0	8.3



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」とした企業は15.4%、「やや減少」「減少」とした企業は39.4%で、今期D. I. は△24.0となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. △4.8より19.2ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業9.1、不動産業8.3の増加を示しました。一方、他の業種では製造業△40.7、卸売業△37.5、建設業△28.5、小売業28.0の減少を示しました。

## (2) 収益

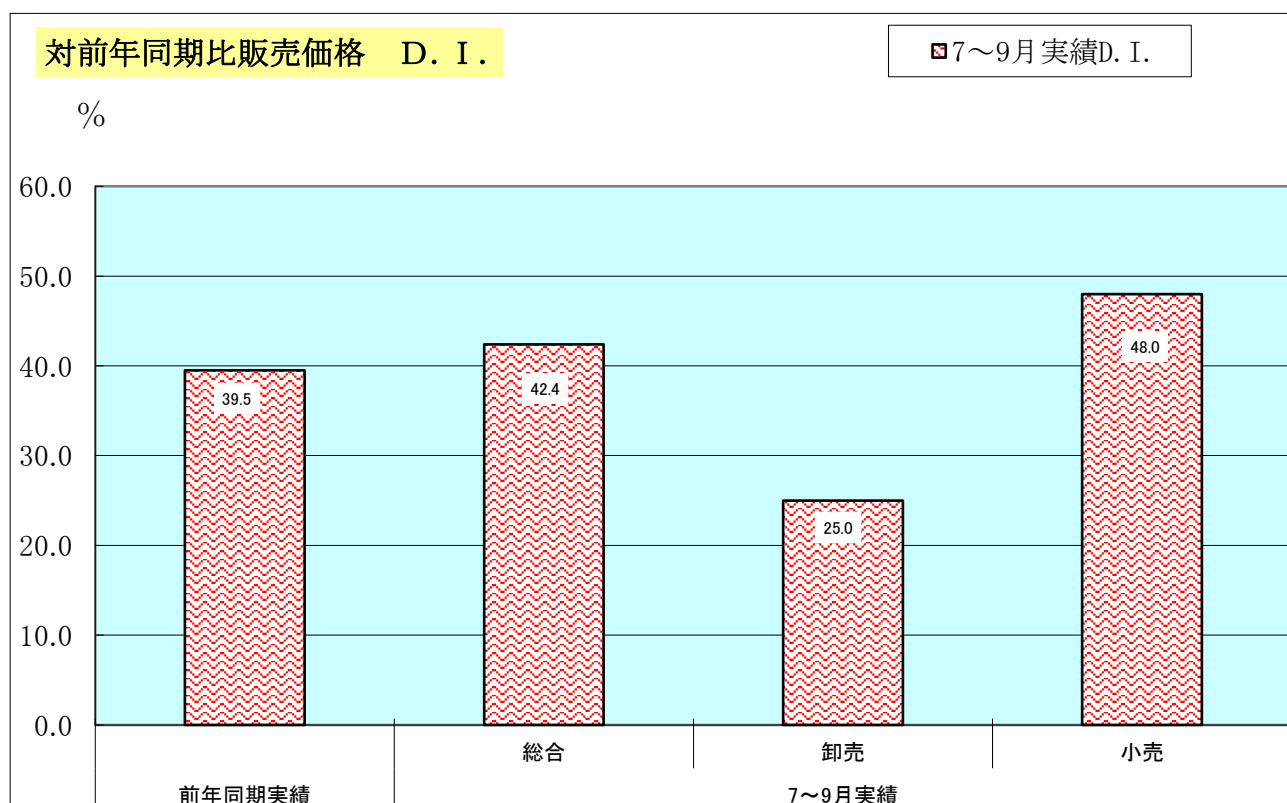
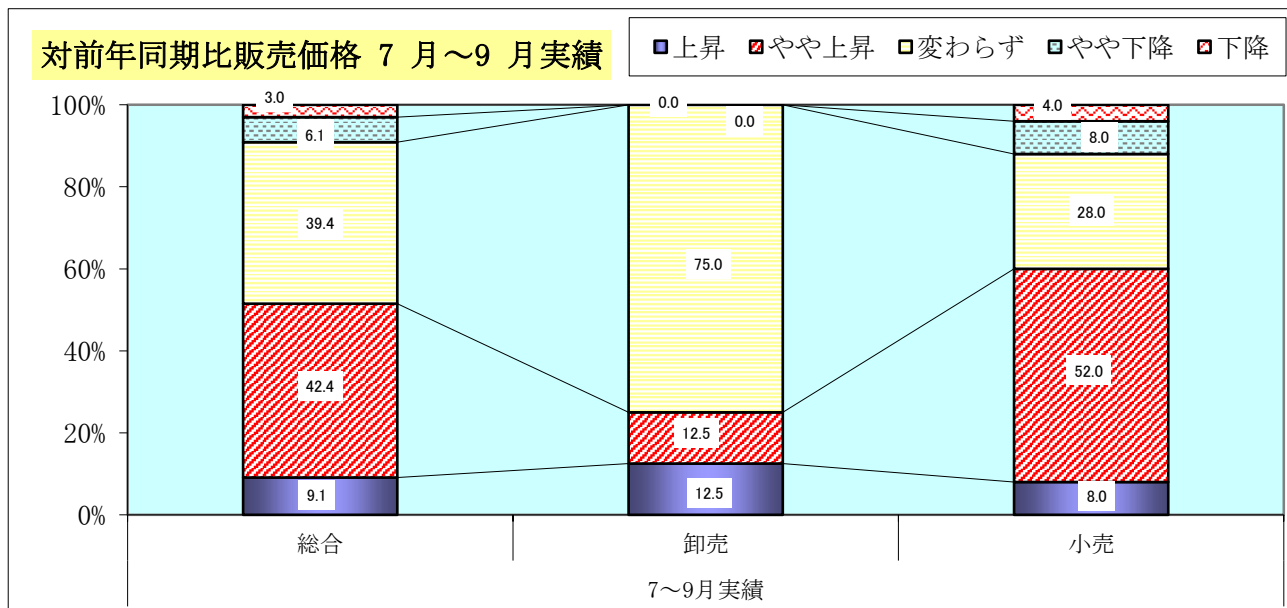
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I.
前年同期実績							-17.3
7～9月実績	総合	1.9	10.6	50.0	26.9	10.6	-25.0
	卸売	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	-37.5
	建設	4.8	4.8	57.1	23.8	9.5	-23.7
	小売	0.0	8.0	52.0	28.0	12.0	-32.0
	サービス	0.0	27.3	36.4	18.2	18.2	-9.1
	製造	3.7	11.1	37.0	37.0	11.1	-33.3
	不動産	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」とした企業は12.5%、「やや減少」「減少」とした企業は37.5%で、今期D. I. は△25.0となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. △17.3に対し、7.7ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業を除き、他すべての業種で減少となりました。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I.
前年同期実績							39.5
7～9月実績	総合	9.1	42.4	39.4	6.1	3.0	42.4
	卸売	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0	25.0
	小売	8.0	52.0	28.0	8.0	4.0	48.0

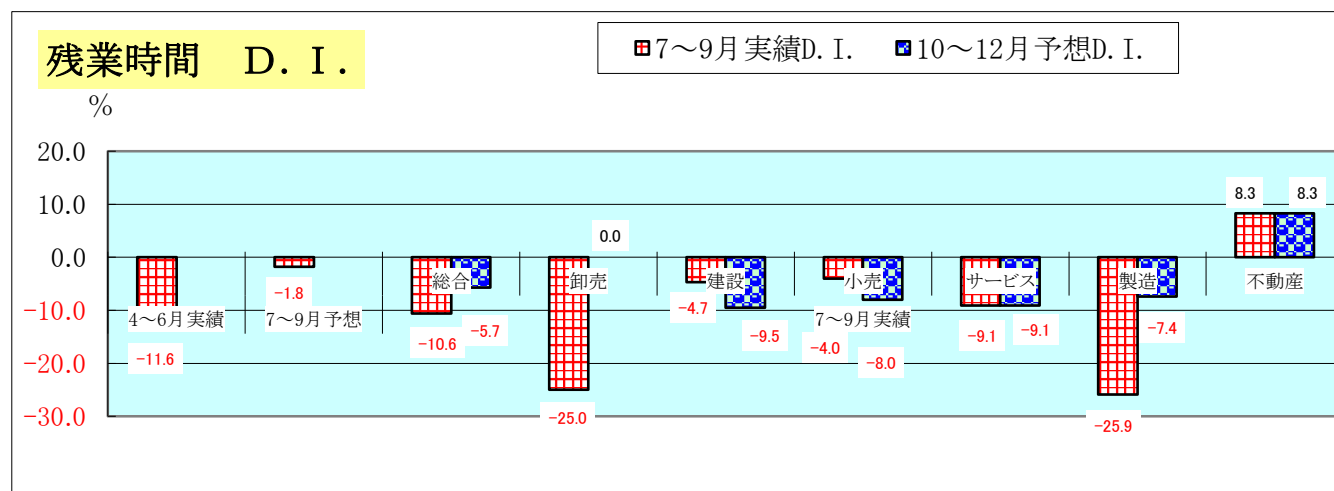
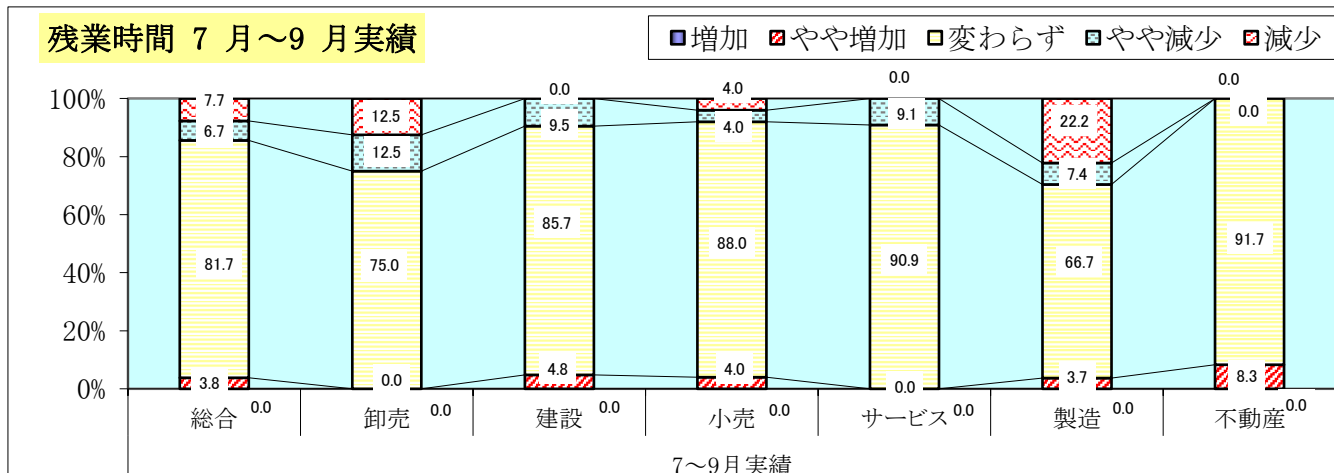


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」とした企業は51.5%、「やや下降」「下降」とした企業は9.1%となり、今期D. I. は42.4となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. 39.5に対し2.9ポイント上昇しました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業48.0、卸売業25.0の上昇を示しました。

## 4. 雇用面の動き

### (1) 残業時間

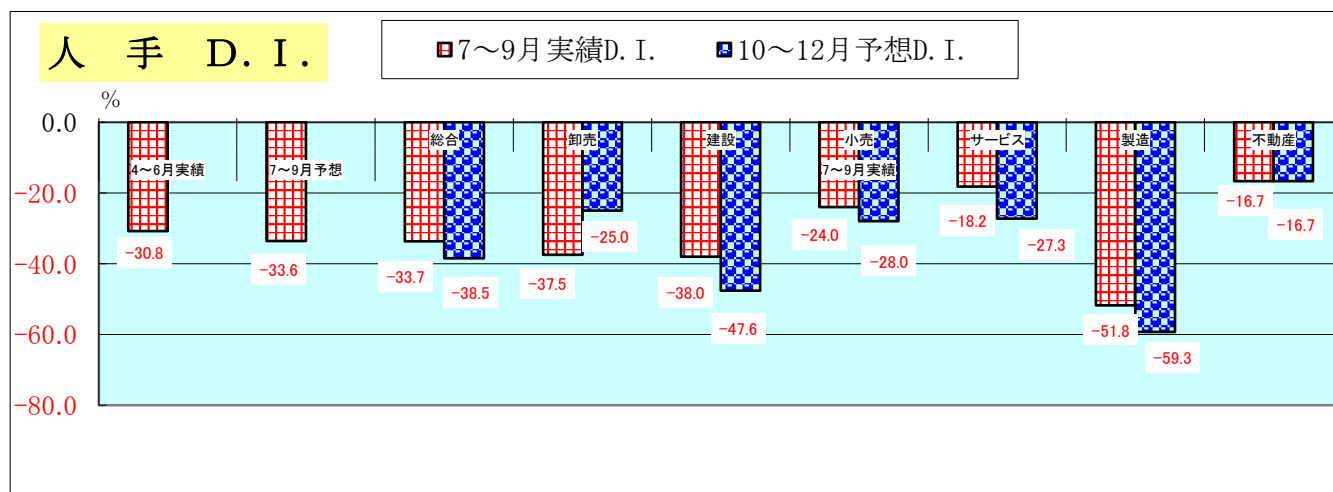
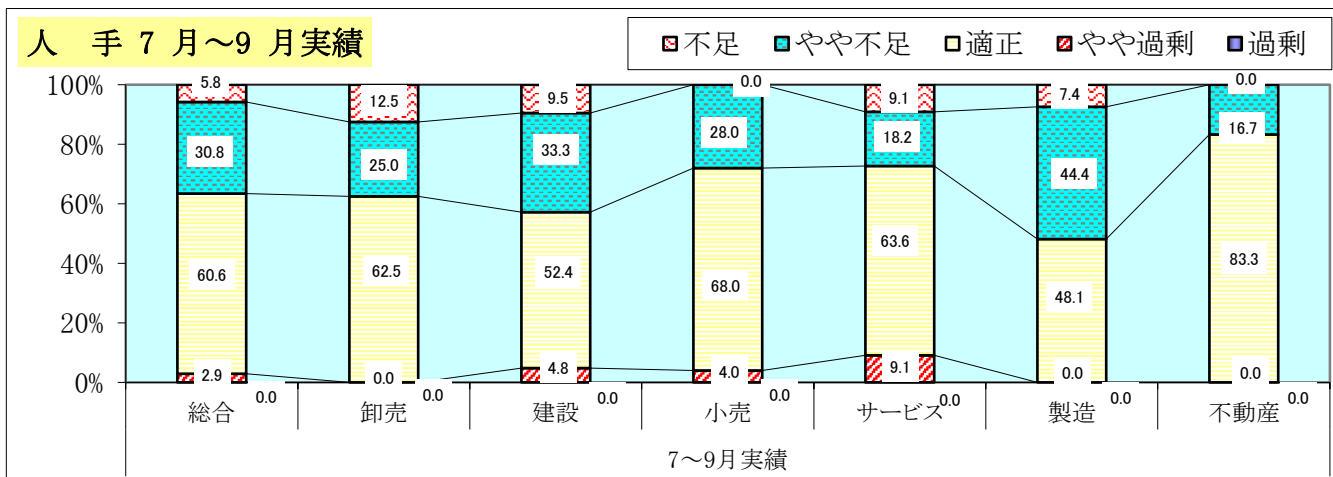
残 業 時 間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-11.6	
7～9月予想							-1.8	
7～9月実績	総合	0.0	3.8	81.7	6.7	7.7	-10.6	-5.7
	卸売	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	-25.0	0.0
	建設	0.0	4.8	85.7	9.5	0.0	-4.7	-9.5
	小売	0.0	4.0	88.0	4.0	4.0	-4.0	-8.0
	サービス	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1
	製造	0.0	3.7	66.7	7.4	22.2	-25.9	-7.4
	不動産	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	8.3



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」とした企業は3.8%、「やや減少」「減少」とした企業は14.4%で、今期D. I. は△10.6となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △11.6に対し1.0ポイント残業時間の増加となりました。前期調査における今期予想D. I. △1.8に対しても8.8ポイント増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業8.3と増加を示したが、一方、他業種については減少を示しました。
- 10～12月予想D. I. は△5.7で、7～9月実績より4.9ポイント残業時間の増加予想となりました。

## (2) 人手

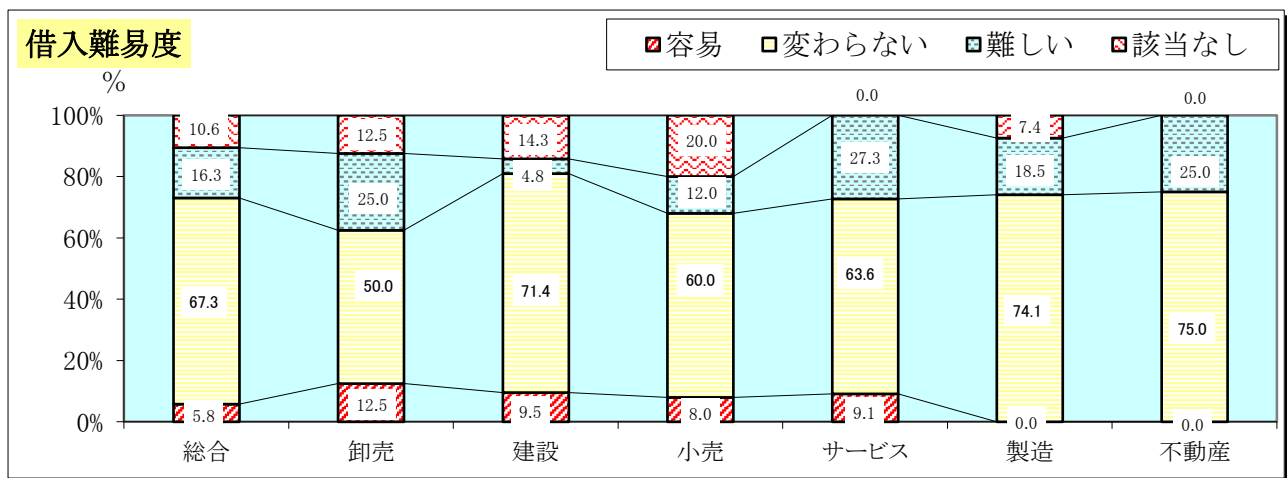
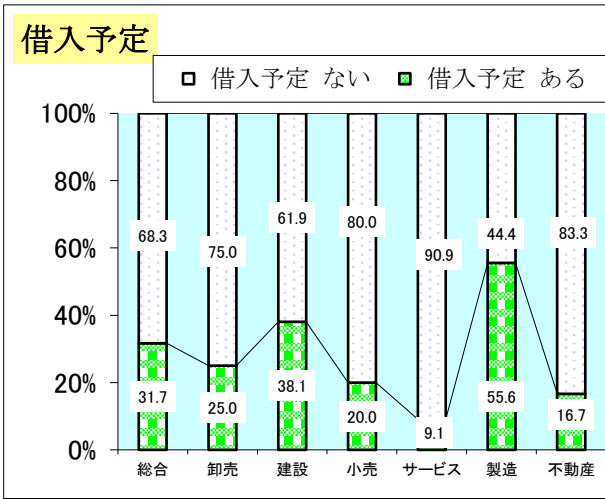
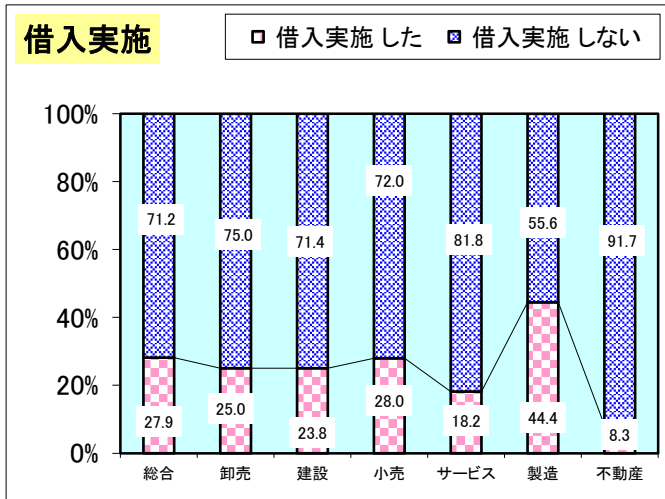
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-30.8	
7～9月予想							-33.6	
7～9月実績	総合	0.0	2.9	60.6	30.8	5.8	-33.7	-38.5
	卸売	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	-37.5	-25.0
	建設	0.0	4.8	52.4	33.3	9.5	-38.0	-47.6
	小売	0.0	4.0	68.0	28.0	0.0	-24.0	-28.0
	サービス	0.0	9.1	63.6	18.2	9.1	-18.2	-27.3
	製造	0.0	0.0	48.1	44.4	7.4	-51.8	-59.3
	不動産	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	-16.7



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」とした企業は2.9%、「やや不足」「不足」とした企業は36.6%で、今期D.I.は△33.7となりました。
- 今期D.I.は前期実績D.I.△30.8から2.8ポイント人手不足を示し、前期調査における今期予想D.I.△33.6に対しても、0.1ポイント人手不足を示しました。
- 業種別の今期D.I.は、全業種で人手不足を示しております。
- 10～12月予想D.I.は△38.5で、7～9月実績より4.8ポイント人手不足予想となりました。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	27.9	71.2	31.7	68.3	5.8	67.3	16.3	10.6
卸売	25.0	75.0	25.0	75.0	12.5	50.0	25.0	12.5
建設	23.8	71.4	38.1	61.9	9.5	71.4	4.8	14.3
小売	28.0	72.0	20.0	80.0	8.0	60.0	12.0	20.0
サービス	18.2	81.8	9.1	90.9	9.1	63.6	27.3	0.0
製造	44.4	55.6	55.6	44.4	0.0	74.1	18.5	7.4
不動産	8.3	91.7	16.7	83.3	0.0	75.0	25.0	0.0

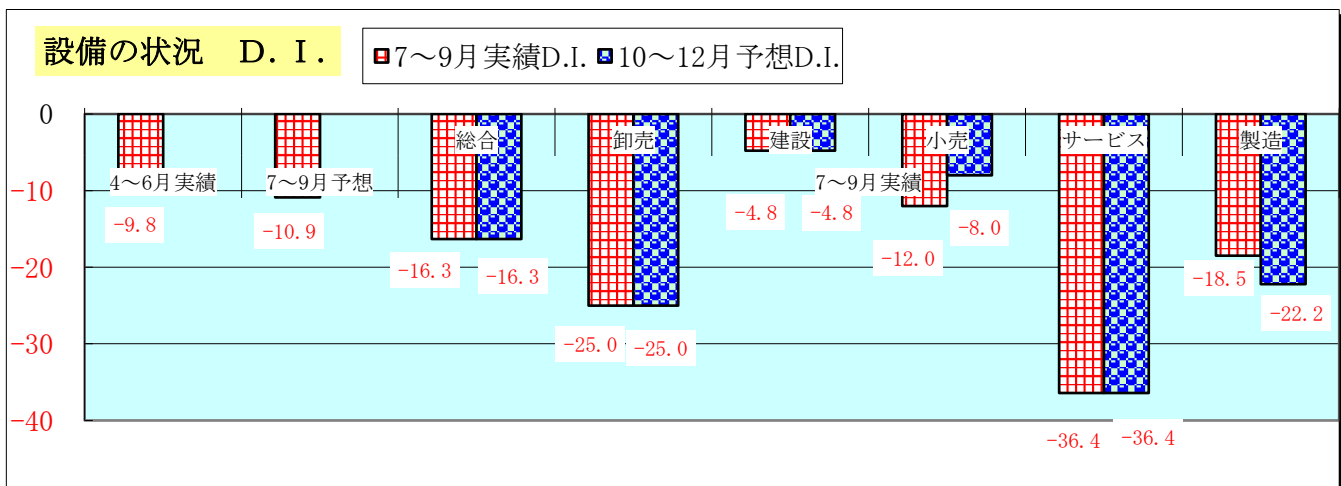
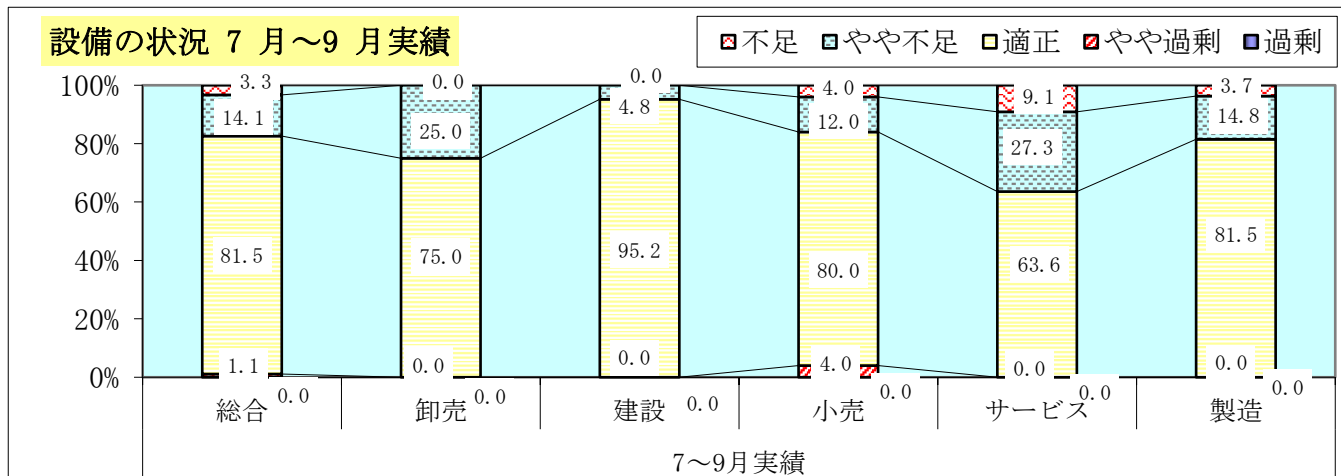


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体で27.9%（前期29.8%）となりました。  
業種別では、製造業44.4%、小売業28.0%等となりました。
- 今後の借入予定では、全体で31.7%の企業が「予定あり」と回答しています。  
業種別では、製造業55.6%、建設業38.1%等となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が全体で67.3%（前期66.3%）、「容易」5.8%（前期3.8%）、「難しい」16.3%（前期16.3%）となりました。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-9.8	
7～9月予想							-10.9	
7～9月実績	総合	0.0	1.1	81.5	14.1	3.3	-16.3	-16.3
	卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
	建設	0.0	0.0	95.2	4.8	0.0	-4.8	-4.8
	小売	0.0	4.0	80.0	12.0	4.0	-12.0	-8.0
	サービス	0.0	0.0	63.6	27.3	9.1	-36.4	-36.4
	製造	0.0	0.0	81.5	14.8	3.7	-18.5	-22.2



- 今期の設備状況(不動産業を除く)について、「過剰」「やや過剰」とした企業は1.1%、「やや不足」「不足」とした企業は17.4%で、今期D. I. は△16.3となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △9.8に対して6.5ポイント不足感が強まりました。  
前期調査における今期予想D. I. △10.9に対しても5.4ポイント不足感が強まりました。
- 業種別の今期D. I. は、すべての業種で不足を示しています。
- 10～12月予想D. I. は△16.3で、7～9月実績と同様の予想となりました。



## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7～9月(件数) 総合	1	5	5	6	8	1	69
卸売	0	0	0	1	0	0	7
建設	0	3	4	2	4	0	11
小売	1	－	－	1	1	0	22
サービス	0	1	0	1	1	0	8
製造	0	1	1	1	2	1	21

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
10～12月(件数) 総合	2	5	7	4	4	1	73
卸売	0	0	0	0	1	0	7
建設	0	2	4	2	1	0	14
小売	1	－	－	2	1	0	22
サービス	1	0	0	0	0	0	10
製造	0	3	3	0	1	1	20

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ26件で前期調査時を9件上回りました。

業種別では、建設業が13件、製造業が6件、小売業・サービス業が共に3件、卸売業が1件となりました。

- 来期の設備投資予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ23件となりました。

業種別では、建設9件、製造業8件、小売業4、サービス業・卸売業共に1件となりました。

設備投資の予定内容は、「車両」が4件、「機械更改」が7件、「機械新增設」が5件、「事務機器」が4件、「土地建物」が2件となりました。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）  
（業種別度数）

（複数回答）

集 計 項 目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構 成 比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前 期	今 期
売上の停滞・減少	3	3	8	7	9	15	4	4	11	11	3	3	38	43	14.3	15.8
同業者間の競争激化	0	0	3	2	5	4	1	2	1	0	3	3	13	11	4.9	4.0
利幅の縮小	3	2	7	8	6	5	2	3	14	8	1	2	33	28	12.5	10.3
人件費の増加	1	3	4	4	3	2	6	5	4	6	3	4	21	24	7.9	8.8
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	1	0	3	3	6	5	0	0	10	8	3.8	2.9
人件費以外の経費の増加	1	1	0	0	0	2	1	1	4	4	2	2	8	10	3.0	3.7
大手企業（大型店）との競争激化	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	3	3	6	1.1	2.2
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
天候の不順	0	0	2	1	4	4	1	2	0	2	0	0	7	9	2.6	3.3
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0.4	0.4
原材料高・材料価格の上昇	0	0	13	14	0	0	7	5	19	18	0	0	39	37	14.7	13.6
地場産業の衰退	0	0	2	2	3	2	0	0	0	0	0	0	5	4	1.9	1.5
集客力の低下	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	3	2	1.1	0.7
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
為替レートの変動	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0.0	1.1
販売商品の不足・商品物件の不足	2	1	0	0	1	3	0	0	0	0	5	4	8	8	3.0	2.9
販売納入先からの値下げ要請	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2	3	0.8	1.1
人手不足	2	2	8	9	6	5	2	3	7	5	1	1	26	25	9.8	9.2
商圏人口の減少	0	0	0	0	8	8	2	0	0	0	0	0	10	8	3.8	2.9
取引先の減少	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0	0	0	5	4	1.9	1.5
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	1	2	0	0	0	0	2	3	0	0	3	5	1.1	1.8
輸入製品（商品）との競争激化	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	3	0.4	1.1
問題なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	0.4	0.7
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
その他	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3	1	1.1	0.4
流通経路競争の激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	1.5	1.5
取扱商品（業務）の陳腐化	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
仕入先からの値上り要請	2	2	0	0	4	7	0	0	3	5	0	0	9	14	3.4	5.1
下請けの確保難	0	0	6	4	0	0	0	0	0	1	0	0	6	5	2.3	1.8
合 計	18	20	56	54	60	66	31	31	73	74	27	27	265	272	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」	43 件	*前期*	第1位～ 「原材料高・材料価格の上昇」	39 件
第2位～ 「原材料高・材料価格の上昇」	37 件		第2位～ 「売上の停滞・減少」	38 件
第3位～ 「利幅の縮小」	28 件		第3位～ 「利幅の縮小」	33 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
卸 売 業	売上の停滞・減少 人件費の増加	3	利幅の縮小、為替レートの変動、人手不足、仕入れ先からの値上げ要請	2	人件費以外の経費の増加、大手企業（大型店）との競争激化、他4項目	1
建 設 業	原材料高・材料価格の上昇	14	人手不足	9	利幅の縮小	8
小 売 業	売上の停滞・減少	15	商圏人口の減少	8	仕入先からの値上り要請	7
サービ業	人件費の増加 原材料高・材料価格の上昇	5	売上の停滞・減少	4	利幅の縮小、工場・機械(店舗設備)の狭小・老朽化、人手不足	3
製 造 業	原材料高・材料価格の上昇	18	売上の停滞・減少	11	利幅の縮小	8
不 動 産 業	人件費の増加、販売商品の不足・商品物件の不足、商品物件の高騰	4	売上の停滞・減少、業者間の競争激化、大手企業(大型店)との競争激化	3	利幅の縮小、人件費以外の経費の増加、	2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）  
（業種別度数）

集 計 項 目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構 成 比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前 期	今 期
経費を節減する	5	2	11	8	16	15	5	4	16	18	5	7	58	54	24.5	21.0
販路を広げる	6	5	5	6	0	0	4	3	13	11	2	2	30	27	12.7	10.5
情報力を強化する	2	2	6	8	0	0	0	0	5	5	10	8	23	23	9.7	8.9
人材を確保する	2	2	12	13	5	4	5	6	12	15	2	2	38	42	16.0	16.3
技術力を強化（高める）	0	0	7	7	0	0	2	0	0	0	0	0	9	7	3.8	2.7
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	0	0	6	7	2.5	2.7
機械化を推進する	0	0	0	0	2	1	0	2	1	1	0	0	3	4	1.3	1.6
パート化を図る	0	0	1	1	0	2	2	1	2	2	1	1	6	7	2.5	2.7
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	1	1	2	0	0	1	2	2	5	0	0	4	10	1.7	3.9
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	1	2	2	3	1	1	4	6	1.7	2.3
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0.4	0.8
新しい事業を始める	0	0	0	0	1	5	7	5	0	0	1	3	9	13	3.8	5.1
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	8	0	0	0	0	0	0	3	8	1.3	3.1
その他	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.4	0.8
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	6	6	2.5	2.3
特になし	0	0	3	3	3	4	0	0	1	1	0	0	7	8	3.0	3.1
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	3	3	1.3	1.2
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.4	0.4
不動産の有効活動を図る	0	0	3	2	1	1	0	0	0	0	3	2	7	5	3.0	1.9
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0.4	0.8
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	0.8	1.6
営業時間を延長する	1	4	0	0	9	4	0	0	0	0	0	0	10	8	4.2	3.1
提携先を見つける	0	1	1	1	2	2	0	0	0	0	2	2	5	6	2.1	2.3
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
合 計	16	20	51	52	51	57	29	28	63	72	27	28	237	257	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 54 件  
第2位～ 「人材を確保する」 42 件  
第3位～ 「販路を広げる」 27 件

\*前期\*  
第1位～ 「経費を節減する」 58 件  
第2位～ 「人材を確保する」 38 件  
第3位～ 「販路を広げる」 30 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
卸 売 業	販路を広げる	5	営業時間を延長する	4	経費を節減する、情報力を強化する、人材を確保する	2
建 設 業	人材を確保する	13	経費を節減する、情報力を強化する	8	技術力を強化（高める）	7
小 売 業	経費を節減する	15	仕入先を開拓・選別する	8	売れ筋商品を扱う	6
サ ー ビ ス 業	人材を確保する	6	新しい事業を始める	5	経費を節減する	4
製 造 業	経費を節減する	18	人材を確保確保する	15	販路を広げる	11
不 動 産 業	情報力を強化する	8	経費を節減する	7	新しい事業を始める	3

## 特別調査

### 不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営

問 1 トランプ大統領就任後、米国の経済社会政策（関税等）には不透明感が増加しています。こうした動きを受けて、貴社の売り上げにこれまで影響がありましたか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、今後の売上に影響があると予想しますか。次の6～0の中から1つ選んでお答えください。

	これまでの売上					今後の売上				
	1. 大いに悪影響 があった	2. 多少の悪影響 があった	3. 特に影響がな かった	4. むしろ良い影 響があった	5. わからない	6. 大いに悪影響 があると予想 する	7. 多少の悪影響 があると予想 する	8. 特に影響がな いと予想する	9. むしろ良い影 響があると予 想する	0. わからない
合計（構成比）	3.4%	23.0%	73.6%	0.0%	14.0%	2.5%	23.1%	38.8%	1.7%	19.8%
総合	3	20	64	0	17	3	28	47	2	24
卸売	0	3	3	0	2	0	3	3	0	2
建設	0	1	19	0	1	0	4	15	0	2
小売	2	5	12	0	6	2	9	9	1	4
サービス	0	4	7	0	0	0	4	5	1	1
製造	1	5	15	0	6	1	6	9	0	11
不動産	0	2	8	0	2	0	2	6	0	4

上記質問において、前問では3.「特に影響がなかった」が64先と一番多く、次いで2.「多少の悪影響があった」が20先の回答となり、後問では8.「特に影響がないと予想する」が47先と一番多く、次いで7.「多少の悪影響があると予想した」が28先の回答となりました。

### 問 2

中国経済の減速が懸念されていますが、貴社に対して間接的な事象も含めてどのような影響が見込まれますか。あてはまるものを次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

	1. 中国企業や個 人向け売上の 減少	2. 中国と取引の ある元請け企 業からの受注 減少	3. 中国からの輸 入コストの上 昇	4. 中国製品との 価格競争の激 化	5. 原材料・部 品・商品等の 調達難	6. 売掛金回収リ スクの増大	7. 為替変動によ る収益の悪化	8. 中国人労働者 の増加	9. その他	0. 特に影響を見 込んでいない
合計（構成比）	5.5%	0.8%	5.5%	6.3%	14.1%	1.6%	7.0%	5.5%	1.6%	52.3%
総合	7	1	7	8	18	2	9	7	2	67
卸売	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4
建設	0	0	0	1	0	0	0	1	0	19
小売	2	0	1	0	7	1	3	1	0	14
サービス	3	0	1	0	2	0	2	2	1	5
製造	0	1	4	6	5	1	3	2	1	16
不動産	1	0	0	0	3	0	1	1	0	9

上記質問において、0.「特に影響を見込んでいない」が67先と一番多く、次いで5.「原材料・部品・商品等の調達難」が18先の回答となりました。

### 問 3

今後の外国為替相場（主に円ドル相場）の貴社にとって望ましい水準について、次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、コロナ禍以降の物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響について、次の6～0の中から、1つ選んでお答えください。

	為替					物価上昇				
	1. 現状より円高 傾向が望まし い	2. 現状程度が望 ましい	3. 現状より円安 傾向が望まし い	4. 自社には関係 ない	5. わからない	6. 良い影響をも たらしている	7. どちらともい えない	8. 悪い影響をも たらしている	9. 自社には関係 ない	0. わからない
合計（構成比）	59.1%	16.7%	4.5%	19.7%	26.8%	1.4%	19.0%	33.1%	4.2%	15.5%
総合	39	11	3	13	38	2	27	47	6	22
卸売	6	0	1	0	1	0	1	6	0	1
建設	7	0	0	6	8	0	4	9	3	5
小売	12	4	0	1	8	0	8	13	0	4
サービス	1	4	1	2	3	0	7	2	1	1
製造	11	2	1	3	10	2	4	13	1	7
不動産	2	1	0	1	8	0	3	4	1	4

上記質問（全2問）において、前問では1.「現状より円高傾向が望ましい」が39先と一番多く、次いで5.「わからない」が38先の回答となり、後問では8.「悪い影響をもたらしている」が47先と一番多く、次いで7.「どちらともいえない」が27先の回答となりました。

**問 4** 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組みはありますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

	1. 事業の多角化	2. 新規顧客の開拓	3. 既存顧客との関係強化	4. 新製品・サービスの開発	5. デジタル化の推進	6. 従業員教育の強化	7. 資金繰りの見直し	8. コスト削減	9. その他	0. 特にない
合計（構成比）	6.7%	16.6%	10.8%	4.9%	6.3%	12.6%	13.0%	22.9%	0.0%	6.3%
総合	15	37	24	11	14	28	29	51	0	14
卸売	1	4	1	0	2	3	3	3	0	0
建設	1	5	5	0	4	7	8	9	0	2
小売	4	11	6	3	3	2	5	14	0	4
サービス	2	4	1	3	2	6	3	5	0	1
製造	3	8	10	5	2	7	7	13	0	5
不動産	4	5	1	0	1	3	3	7	0	2

上記質問において、8.「コスト削減」が50先と一番多くの回答となり、次いで2.「新規顧客の開拓」が37先、7.「資金繰りの見直し」29先、6.「従業員教育の強化」28先の回答となりました。

**問 5 特別設問** 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについて、次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

	1. 担当者の訪問回数の増加	2. 担当者訪問時の滞在時間の延長	3. 担当者交代時の丁寧な引継ぎ	4. 担当者の頻繁な人事異動がないこと	5. 支店窓口での相談機能の強化	6. インターネットバンキング等の非対面チャネル充実	7. 金融機関の本部専担者・外部専門家による支援	8. 要望に対する迅速な対応	9. その他	0. 特に期待していない
合計（構成比）	5.8%	0.6%	9.3%	13.4%	7.6%	9.9%	8.1%	32.0%	0.6%	12.8%
総合	10	1	16	23	13	17	14	55	1	22
卸売	1	0	2	0	0	4	1	1	0	2
建設	0	0	2	5	2	1	1	15	1	3
小売	5	0	3	7	4	2	2	13	0	6
サービス	1	1	2	3	2	4	5	6	0	1
製造	3	0	6	8	5	4	3	15	0	5
不動産	0	0	1	0	0	2	2	5	0	5

上記質問において、8.「要望に対する迅速な対応」が55先と一番多く、次いで4.「担当者の頻繁な人事異動がないこと」が23先、0.「特に期待していない」が22先の回答となりました。